

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会	主 査 名：古賀 貴士 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：佐久間 哲哉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>今後順次制定していく音環境規準について、作成・改訂する音環境規準の検討・決定／作成・改訂スケジュールと体制の検討・決定／遮音性能規準の考え方等全体に影響を及ぼす事項の検討／WG による音環境規準 WD の作成・改訂／企画刊行運営委員会移行後のフォロー／作成に関する全体マネージメント</p> <p>・本年度は、以下の項目を活動項目とする：音環境規準全体のグランドデザインの検討／集合住宅に関する規準・指針についてのフォロー／新規 AIJES の取り組みに関する議論</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：古賀貴士 (鹿島建設) 幹事：池上雅之 (大林組)、平光厚雄 (国土技術政策総合研究所) 委員：井上勝夫 (日本大学)、岡野利行 (竹中工務店)、佐久間哲哉 (東京大学)、清水 寧 (東京工業大学)、田端 淳 (大成建設)、佐藤 洋 (産業技術総合研究所)、羽入敏樹 (日本大学)、濱田幸雄 (日本大学)、平松友孝 (音・環境研究所)、福地智子 (永田音響設計)、宮島 徹 (清水建設)、吉村純一 (小林理学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無： なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方
講習会	1. 集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方(1/25 開催) 参加者数 184 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1.
大会研究集会	1.
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 音環境規準全体のグランドデザインを見据えつつ、新規 WG 設立の方向性がほぼ固まり、好調な達成度である。 2. さまざまな議論の結果として「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」が刊行されたことは高く評価できる。
委員会活動の問題点・課題	・特になし

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>さまざまな議論の結果として、「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」という形で書籍を刊行できたことの達成度は非常に高い。集合住宅に関しては、今後の AJES 化に向け解決すべき課題を抽出し、音環境運営委員会傘下の関連小委員会等に検討を依頼しており、今後の継続した調査研究の活性化を促す役割も果たしている。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。